

「就職の前に実際の現場を見て視野を広げてくれれば」と話すのは、大和合金の萩野源次郎社長。グループの銅合金鑄造・鍛造メーカー三芳合金工業(埼玉県三芳町)で工業高校や大学からのインターンシップを積極的に受け入れている。今年も13人が同社で就業体験する予定で、現在までに10人が現場の息吹に触れた。

先週6月からのインターンを終了したもののつくり大学3年生の小山雄也君は銅合金の溶解や砂型鑄造の職場を体験。40度を超える現場に携わった。受け入れ期間は学

「全てを一通り紹介して理解を深めてもらおう」(萩野社長) 校によって1年間から5日間までさまざま。同社は溶解鑄造、熱処理、行つコンサルタントやバーベキュー大会などイベントにも参加させている。学生が興味を持つ工程を積極的に体験させるなど、さらに学びやすい環境を整える取り組みを進める。これまでに5人のインターン経験者が入社。現場で仕事や人に関わる中で、社会への理解が深まるとともに同社の魅力も伝わっている。

三芳合金 インターンシップ積極受入れ

今年も13人が就業体験



インターンシップに参加した小山君(左)

今後は